

## 5. 問い合わせ件数 (H21年度分)

	漁協・水産団体等	漁業者・水産加工業者	官公庁	学校等	マスコミ等	一般企業	一般県民	その他	合計
漁場・環境	2		7		2	3		2	16
魚・水生生物	9	3	7	1	25	4	3	2	54
漁業	1	1	1		6	4	1	1	15
利用加工	8	16	4	2	4	11	5	1	51
栽培・養殖	9		5		1		1		16
安全・安心			2			3		2	7
漁業被害			3		2				5
珍魚・特異現象			1						1
その他	1		1		5	3	1	1	12
合計	30	20	31	3	45	28	11	9	177

## 6. 発表業績

### (1) 学術誌等での発表

#### ○ 学術誌での発表

- ・ 隠岐浦郷湾におけるイタヤガイ母貝集団の造成が天然採苗に及ぼす効果：勢村 均・山本孝二・佐藤利夫、日本海水学会誌、63、130-136(2009)。
- ・ 島根県隠岐島浦郷湾の養殖イワガキにおける 0 から 1 歳にかけての成熟過程：勢村 均・石田健次・中上 光・林 育夫、日本海水学会誌、64、39-43 (2010)。
- ・ 底魚類の資源回復のための自然変動を活用した漁獲システムの開発：村山達朗・天野千絵・志村 健、月刊海洋、468、554-561 (2009)。
- ・ 水揚げ現場での脂の乗り（脂肪含量）の測定の試みー島根県浜田漁港発“どんちっちあじ”ー：内田 浩、「ていち」117、45-52 (2010)。
- ・ 日本海南西海域における中層トロールと面積密度法を用いたマアジ当歳魚の現存量推定手法の開発：志村 健・大下誠二・寺門弘悦・田 永軍、水産学会誌、75、1042-1050(2009)。
- ・ Seasonal variation in Tsushima Warm Current paths over the shelf off the San'in coast, Japan : Akihiko Morimoto, Yutaka Isoda, Tatsuji Tameishi, Shimpei Moriwaki, Continental Shelf Research, 29 (2009) 1437-1447.

#### ○ 学会・研究集会等での口頭発表

- ・ ブリの品質に及ぼす水氷浸漬時間の影響：岡本 満、第 57 回日本海水産物利用担当者会議水産物の利用に関する共同研究集、14-18 (2010.3)。
- ・ 近赤外分光法によるサワラ脂肪含有量の推定：内田 浩、第 57 回日本海水産物利用担当者会議 水産物の利用に関する共同研究集、19-21 (2010.3)。
- ・ サワラの鮮度特性と船上処理方法の検討：岡本 満、平成 21 年度水産利用関係研究開発推進会議利用加工技術部会研究会、中央水研、横浜市、42-43 (2009.11)。
- ・ 近赤外分光法によるズワイガニ品質の推定：清川智之・内田 浩、平成 21 年度水産利用関係研究開発推進会議利用加工技術部会研究会、中央水研、横浜市、60-61 (2009.11)。
- ・ 高津川漁協はなぜ産卵保護を強化したのか：村山達朗、天然アユを増やすと決めた漁協のシンポジウム 第 3 回 2008 年和歌山大会記録集、22-26、天然アユ保全ネットワーク(2009)。
- ・ 島根県隠岐島におけるアカモク場造成試験：佐々木 正・柳 昌之・新井省吾、日本海ブロック増養殖研究会 (2010.3)。

- ・ 島根県における小型底びき網漁業の現状と努力量削減の検討：道根 淳・村山達朗、第7回日本海ブロック資源研究会、(2010. 1).
- ・ 隠岐北方海域で標識放流されたズワイガニの再捕率：上田祐司・木下貴裕・道根 淳・志村 健・大谷徹也、平成 22 年度日本水産学会春季大会. 講演要旨集、133 (2010. 3).
- ・ 島根県における底びき網漁業の現状と展望. 資源管理の可能性について：村山達朗、「わが国における総合的な水産資源、漁業の管理のあり方」に関わる講演会講演録、独法水産総合研究センター、185-227 (2009. 3).

## (2) 報道実績

日付	新聞社・報道局等	内容	担当部署
H21. 4. 6	水産経済	2月の漁況速報について	海洋資源グループ
H21. 4. 22	中国新聞	どんちっちアジ出荷	海洋資源グループ
H21. 5. 9	山陰中央新報	サワラの脂質含有量測定技術	利用化学グループ
H21. 5. 11	みなと新聞	マアジの漁況予測	海洋資源グループ
H21. 5. 21	みなと新聞	スルメイカ来遊量少なく低調	海洋資源グループ
H21. 5. 21	山陰中央新報	県水産技術センター栽培漁業部を廃止	栽培漁業部
H21. 5. 28	山陰中央新報	宍道湖におけるヤマトシジミの資源状況について	内水面グループ
H21. 5. 28	山陰中央新報	宍道湖シジミ資源回復遅れ、漁業者来月の調査に期待	内水面グループ
H21. 6. 9	NHK松江支局	宍道湖のワカサギ復活に向けた取り組み	内水面グループ
H21. 6. 11	山陰中央新報	ヤマトシジミの資源調査が始まる	内水面グループ
H21. 6. 12	山陰中央新報	サルボウの試験研究の取り組みについて	浅海グループ
H21. 7. 20	釣り画報	産卵床整備や禁漁期延長でアユ資源回復の途に	海洋資源グループ
H21. 7. 25	山陰中央新報	マアジの豊漁期待	海洋資源グループ
H21. 8. 4	山陰中央新報	H21春季ヤマトシジミ資源量調査について	内水面グループ
H21. 8. 26	山陰中央新報	ヤマトシジミの資源動向について	内水面グループ
H21. 9. 13	朝日新聞	水産技術センター浅海グループの業務について	浅海グループ
H21. 11. 6	山陰中央新報	大社湾のバイ資源回復傾向	海洋資源グループ
H21. 11. 10	みなと新聞	アジの脂質測定技術、ズワイガニの身入り計測技術を紹介	利用化学グループ
H21. 12. 29	中国新聞	H21秋季ヤマトシジミ資源量調査について	内水面グループ
H22. 1. 28	水産経済	H21漁期前半の漁模様	海洋資源グループ
H22. 1. 29	みなと新聞	沖合底引き網の H21漁期前半の漁模様	海洋資源グループ

(3) その他情報提供一覧 (関係機関へ情報提供するとともにホームページで公開)

		漁業生産部・栽培漁業部				内水面浅海部			各部共通		
	トビウオ通信	トビウオ通信漁況速報	海況情報	とびつくす	内水面浅海部	川つ湖通信	水産技術センター	事業年報	研究報告書		
内容	主要魚種の漁況予報、主要漁業の漁況のとおりまとめ	県内主要漁業(まき網、イカ釣り、沖合底びき網、小型底びき網、定置網、釣り・縄)の漁獲統計・沿岸水温	試験船による海洋観測終了後、近隣海域の情報に加え、等温線図、平年偏差図の作成	海洋における研究成果や話題性のあるテーマを掲載	宍道湖・中海水質情報 大橋川水質情報	河川・湖の研究成果や話題	巻頭言、新規研究課題の紹介、研究成果情報、各研究課題の結果概要	事業年報	研究報告書		
H21 4月	平成21年度第1回日本海海況予報 平成21年度上半期浮魚中長期漁況予報		○	No.43 (4月) サワラの価格向上をめざして			第4号発行				
5月	平成21年度第1回日本海スルメイカ漁況予報		○	No.44 (6月) 深海からの珍客							
6月			○	No.45 (7月) 中海の貧酸素化と生物に対する影響～魚類のへい死はなぜ起きたか?～							
7月	平成21年度第2回日本海海況予報 平成20年漁期の底びき網漁業の動向 マアジ新規加入量調査結果速報										
8月	平成21年度第2回日本海スルメイカ漁況予報		○		宍道湖・中海水質調査は月1回行い、ホームページで公開。 大橋川水質情報は内水面浅海部のホームページで1時間ごとに自動更新。	No.2(8月)平成21年度春季シジミ資源量調査結果					
9月		毎月発行	○								
10月			○	No.46 (10月) バイ資源復活に向けて! ～バイ貝貝移植放流試験から～							
11月	平成21年度下半期浮魚中長期漁況予報		○								
12月			○								
H22 1月	平成21年漁期前半の底びき網漁業の動向										
2月			○	No.47 (2月) 大型クラゲ 平成21年度来遊状況							
3月	平成21年の島根県漁業の動向		○					平成20年度版発行 (3月)			